

編集・発行責任者;木下耕一 〒157-0066 東京都世田谷区成城 8-24-1 - A-201
Fax&Tel 03-3482-5257 / E-Mail; kino-coh1@amy.hi-ho.ne.jp

もひつさと交流会と同様お客様さんが増えてきた頃にちょうど雨が降りだすといふ生憎の天気でしたが、なかなか楽しい一日でした。

前回同様今回もかたつむりの舞台裏をご紹介します。私は例によつてバザーのお手伝い。朝九時に品川区立中延小学校に集合。バイクで約三十五分でした。

バザー用品を運んでくるのは職員の高城さん。前日かたつむりのワゴン車に荷物を乗つけて帰り、今朝は目黒の自宅から直行でいらしたそうです。バザーは、搬入の足をどう確保するかが第一ポイントですよね。

今回は、たましろの郷後援会、全通研東京支部、世田谷区聴覚障害者協会とかつむりの四店が出店。小学校の校庭に仲良く机を並べて設営。最初は、「ほんどう」と「買ひあつてる」状態で、お客様がくくるんかいな?と大変心配しました。

よつやくほつほつと客足が延びてきた頃、お天気の方もボソリボソリ。慌ててお隣の荏原文化センターの要員控え室へ店を移動。

開店早々の引越しは大変でしたが、式典・アトラクションが行われたホールと同じ建物内で販売ができる結果的にはこれがとてもラッキーでした。

お客様の入りもまあまあだったのでないでしょうか。かたつむりのバーカーは完売。鉄道研究所から寄付された非常用の

お米と缶詰も意外な売れ行きでした。（販売した人がよつほど強引だった?）

私はずっと店に詰めていたのでホールでの経過報告やアトラクションはほんとう見てないのですが、たまたまこの郷を支援しよう集まつた方がホールを埋め尽くす様子を見て「東京もまだまだ捨てたもんじゃない」と心強く思いました。

今回は城南地区聴覚障害者団体連合会主催として、市消防局の専用ファックスに救急連絡現場に駆け付ける救急隊員と主に筆談でやりとりするケースが多い。だが、うまく意思疎通できず適切な処置に手間取ることもあり、隊員から手話習得の必要性が指摘されました。

手話の教材は、「吐き氣はありますか」「血圧を測ります」など救急医療の実情に即した内容。二円から福岡市消防局で販売もする予定だ。

市消防局救急救助課の安達健治主査は、「既に一部で勉強会をやっていきるようになれば」と成果に期待している。

たましろフェスタ開催

新聞スクワット
02/11 10:11 共同通信
全救急隊員に手話認得を

福岡市消防局が取り組み

援したいものです。

2月20日(土)にかたつむりで『親の会バザー』があります。買に来てください!